****
★☆★☆★ メルマガ 素形材（第３６７号）★☆★☆★【発行日：2021 年 10 月 22 日】
****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ⅰ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
Ⅰ-1．オンライン素形材技術セミナー　New★
「現場で役立つ！！鋳造現場でのＱＣ」のご案内
Ⅰ-2．月刊誌「素形材」令和４年１月号特集掲載原稿募集【締切延長】　New★
Ⅰ-3．オンライン素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内
Ⅰ-4．オンライン素形材技術セミナー
「わが社でもできるDX（デジタルトランスフォーメーション）
～DXの世界へ一歩踏み出す勇気を持とう～」のご案内

Ⅱ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
Ⅱ-1．月刊誌「素形材」令和３年 10 月号（Vol.62,No.10）のご案内　New★

Ⅲ．素形材業界関連－募集・トピックス－【●●☆●】
Ⅲ-1．「バルブ初級研修(公開講座)」　New★
【一般社団法人日本バルブ工業会】
Ⅲ-2．粉末冶金国際会議（欧州）の論文募集について　New★
【日本粉末冶金工業会】
Ⅲ-3．第 344 回塑性加工シンポジウム　New★
「デジタルエンジニアリングの最前線」－令和時代の生産技術の方向性－
【一般社団法人日本塑性加工学会】
Ⅲ-4．「関西発のイノベーション創出フォーラム」　New★
―2021 年度第２回フォーラムのご案内―（11/29 開催）
【大阪科学技術センター】
Ⅲ-5．クボタ若手研究者研究奨励制度の公募について　【株式会社クボタ】

Ⅳ．素形材産業政策関連－トピックス・募集等－【●●●☆】
Ⅳ-1．統計　New★
Ⅳ-2．「しわ寄せ」防止キャンペーン月間（11 月）について　【中企庁】New★
Ⅳ-3．新型コロナウイルス感染症関連支援策について　【経産省】New★

****

Ⅰ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】

∞∞∞

考え方、および代表的なＱＣ手法を演習を交えながら習得し、現場で効率的な問題解決ができるように致します。
また、これらの考え方を実践し、高い成果を上げている企業の改善事例発表を聞き、どのような活動をしているのか学びます。多数のご参加をお待ちしております。

●日時　　令和３年12月９日(木)　10：00～16：50
　　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetings を使用）
●プログラム
コーディネーター　小林技術士事務所　小林　良紀　氏
　　(一社)日本鋳造協会　佐藤万企夫　氏

(1)鋳造品質良くすればコストが下がる！
　小林技術士事務所　小林　良紀　氏
(2)ＱＣ的なものの考え方について
(一社)日本鋳造協会　佐藤万企夫　氏
(3)鋳造現場でＱＣ的に問題を解決するための各種手法
クリエイティブ マインド　代表　高木 美作恵　氏
(4)鋳造現場での改善事例①
佐藤鋳工㈱　原　　幸雄　氏
(5)鋳造現場での改善事例②　「シリンダーブロック『中子巾木折れ不良』の撲滅」
日産自動車㈱　久保　香華　氏
(6)総合討論

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/japanese/seminar/document/R3_1209_online.doc

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞∞

http://sokeizai.or.jp/japanese/publish/kokuchi2022.html
【お問合せ・原稿提出先】
一般財団法人素形材センター 業務部　E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ⅰ-3.　オンライン素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内

新型コロナウィルス感染症の影響で従来の集合型研修講座の開催が困難なため、オンライン素形材技術研修講座 「鋳鉄の鋳造方案技術」を開催いたします。この機会を是非ともご利用頂きまして、多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

■日　時　　令和3年12月8日(水)、15日(水)、22日(水)　3日間
　　オンライン研修講座（Cisco Webex Meetingsを使用）

■プログラム
コーディネーター　　(公社)日本鋳造工学会　佐藤 和則　氏

【令和3年12月8日(水)】
・鋳造方案の基礎
㈱ＩＪＴＴ　古里憲明　氏
・ねずみ鋳鉄の中･小物鋳造方案
㈱ＩＪＴＴ　古里憲明　氏

【令和3年12月15日(水)】
・大物鋳物の鋳造方案
㈱木村鋳造所　菅野利猛　氏
・鋳造欠陥に対する各種方案例
㈱木村鋳造所　菅野利猛　氏
・特殊鋳造法の特徴と方案
栗熊技術事務所　栗熊　勉　氏

【令和3年12月22日(水)】
・球状黒鉛鋳鉄の中･小物鋳造方案
㈲張技術事務所　張　　博　氏
・コンピュータを利用した鋳造方案
クオリカ㈱　木下文昭　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/japanese/seminar/document/R3_kouza_1208_15_22_online.docx

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ⅰ-4.　オンライン素形材技術セミナー
「わが社でもできるDX（デジタルトランスフォーメーション）
～DXの世界へ一歩踏み出す勇気を持とう～」のご案内

主催：(一財)素形材センター、(一社)日本金属プレス工業協会

現在、世の中はデジタル技術を活用して大きく変わろうとしています。ものつくりの現場でも、DXによってその生産形態が大きく変わろうとしています。その一方で我が国はこの流れに乗り遅れ、生産効率・労働生産性が長年低下し続けている状況にあります。このセミナーは、いまだDX化へ踏み込めていない中小企業の方々、あるいはDX化は気にはなるもののどこから手を付ければいいのか分からないという方々、さらには、一歩踏み込んだもののうまくいっていないという方々を対象とし、多くの事例を紹介することによって問題解決の糸口をつかんでいただこうという趣旨で企画しました。多数のご参加をお待ちしています。

■日　時　　令和3年11月25日（木）
　　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetingsを使用）
■プログラム
コーディネーター　総合司会　元湘南工科大学　片岡　征二　氏

(1) 中小企業のためのローコストデジタルカイゼンのすすめ
㈱電子技術指導センター　大久保　陽一　氏

(2)中小製造業が取り組みやすい生産管理システム、Iotの活用事例
㈱テクノア　西村　恭範　氏

(3) 必要に迫られ、改善活動の一環で気付いたら社内DX化！？
事例発表会からまさかのニーズ、そしてビジネスへ！
野口工業㈱　野口　博永　氏

(4) 超アナログ鋳造工場をデジタル化、格安レトロフィットIoTで第1歩（仮）
栗田産業㈱　栗田　圭　氏

(5) デジタル技術を活用して金型づくりを変える！
㈱ウチダ製作所　森　光賢　氏

(6) IBUKIの中小企業デジタル奮闘記
～できた事。やっぱり難しかった事。今だから話せる事～（仮）
㈱O2　松本　晋一　氏

(7) プレス加工にDXを取り入れるには、そして究極のDXとは
㈱放電精密加工研究所　村田　力　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
http://www.nikkin.or.jp/news/202110_-106.html

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

****

Ⅱ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
∞∞∞

◆会期：2022 年 10 月 9 日～13 日
◆場所：フランス・リヨン
◆登録：EPMA の HP よりお申込みください
EPMA https://www.epma.com/

∞∞∞

連携を目的に、大学や研究機関の若手研究者を対象とした研究奨励制度を昨年度に創設しました。
　本年度も、金属材料の各種研究に携わる大学及び研究機関の准教授、講師、助教、研究者等を対象に最大３名、各１００万円の研究奨励金が出されます。現在、金属材料に関する研究テーマにつき募集中で、締め切りは１０月２９日までとなっております。
■応募規定など詳しい内容は以下をご覧ください。
https://www.kubota.co.jp/news/2021/others-20210830.html

****
Ⅳ．素形材産業政策関連－トピックス・募集等－【●●●☆】
∞∞∞

パンフレットが１０月１８日付けで最新版に更新されております。支援策の全体像を俯瞰するに大変に役に立つものと思われますので、是非とも参考にして下さい。

■詳細は以下をご覧ください

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf?1018

****

■「メルマガ素形材」は、基本、毎月２回程度で発行致します。

次回をお楽しみに！

■「素形材業界関連―募集・トピックス等」に掲載ご希望の方は、

「１.件名　２.主催者名　３.概要　４.HP リンク先」

を記載の上、mail@sokeizai.or.jp までお送り下さい。

■登録内容の変更、配信停止希望はこちらから

https://sokeizai.or.jp/mailmag/index.html

■お問合わせ、ご意見、ご感想、また掲載内容のご要望はこちらから

gyoumu@sokeizai.or.jp

■メルマガ 素形材は、今回で第３６７号となります。メルマガ素形材は“利用しやすい素形材情報”を目指して発信しています。より多くの方にご覧いただくことで内容の充実を図りたいと思っています。

読者の皆様のご意見、ご感想はもちろんのこと、ご関係の方々を当センター事務局にご紹介・ご連絡ください。

****

■発行元：〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 3 階 301 号室

一般財団法人 素形材センター

TEL：03-3434-3907　FAX：03-3434-3698　http://sokeizai.or.jp/

****

※ドメイン変更による不着メールが多くなっております。ご所属機関のドメインが変わられた際には必ずお知らせくださいますようお願い致します。